郷土の木彫家

瀬戸栄子作品展

せとえいこ

瀬戸栄子氏は、野々市の新町（現在の本町二丁目）で生まれ、16歳の頃から人形制作を独学で始めました。「自分の心を表現できる世界は人形を^お描いて他にない」として制作に明け暮れたと述べています※1。日本最大級の美術展である日展や^{こうふうかい}光風会といった数々の美術展に出品し、木彫の工芸人形の技術書も出版するなど精力的に活動しています。

この度、生家である家屋の取壊しに伴い、保管されていた多数の作品や資料が市に寄付され、公開する機会に恵まれました。地元野々市で生まれ育った「郷土の木彫家」瀬戸栄子氏の作品や、生家に関連する資料をぜひご覧ください。

また、本展開催に当たり、ご親族の皆様には多大なるご協力を賜りました。厚くお礼申し上げます。

〔おことわり〕本展においてタイトル不明の作品については「無題」と統一しました。ご了承ください。

※1 瀬戸栄子著『木彫の工芸人形』1993年、日貿出版社より